

令和5年度

第13採択地区教科用図書採択協議会 第1回採択協議会 議事録

日時 令和5年5月8日(月)午後3時00分～午後4時00分

場所 飯能市子育て総合センター(山手保育所2階)

出席者 滝嶋 正司 古谷 広明
中村 力 新野 豊次
中村 一夫 山川 治美
中田 一平 高山 茂

事務局

長嶋 伸一 日高市教育委員会教育部参事

(以下、「参事」とする。)

中井 健一 飯能市教育委員会教育部参事兼学校教育課長
利根川典正 日高市教育委員会学校教育課長兼主任指導主事
町田 直偉 飯能市教育委員会学校教育課指導主事
中川 智晴 日高市教育委員会学校教育課指導主事
岩田 浩一 入間市教育委員会学校教育課指導主事
児島 綾子 狭山市教育委員会教育指導課主任指導主事

進行事務局：中川

1 開会

【参事】

2 あいさつ

第13採択地区教科書採択協議会会長：中村 力より

3 協議

【司会】中村会長

本会議は公開とする。

規約の第7条に会長の職務代理者を指名することとなっており、職務代理者については、日高市の中村教育長にお願いする。

規約の第8条に基づき、採択協議会の事務局を飯能市教育委員会事務局と日高市教育委員

会事務局におく。

協議 1 専門員・事務担当者の委嘱について

【事務局】（中川指導主事）

専門員については、36名を選出する。

【司会】 質問を受ける。

【一同】 特になし

【司会】 承認をいただきたい。

【一同】 承認

協議 2 経費について

【事務局】（中川指導主事）

収入予算額については、各教育委員会均等割として、1万円×4市で4万円。

内訳は、会議費として、協議会費、専門員会費を合わせて1万5千円、事務局消耗品費2万円、予備費5千円

協議会委員旅費、専門員旅費、専門員調査研究費は計上していない。

専門員旅費は、県費負担。

本会議終了後、日高市教育委員会の事務局より各教育委員会の事務局に負担金振込みの依頼をする。

【司会】 質問を受ける。

【委員】

協議会費の支出が3千円であるが、内訳が第1回協議会3千円、第2回協議会2千円となっており、間違いではないか。

【司会】 予備費5千円を3千円に修正し、協議会費を5千円に修正の上、承認をいただきたい。

【一同】 承認

協議 3 日程について

【事務局】（中川指導主事）

採択協議会に関わる日程について

【司会】 質問を受ける。

【一同】 特になし

【司会】 承認をいただきたい。

【一同】 承認

協議4 選定の方法について

【事務局】（中川指導主事）

教科用図書が投票による選定になった場合は、教科ごとに用紙の「選定」の欄に○印を記入し、回収・集計する。

【司会】 質問を受ける。

【一同】 特になし

【司会】 承認をいただきたい。

【一同】 承認

協議5 学校における研究結果の聴取について

【事務局】（中川指導主事）

学校における研究結果の報告を受け、各市及び事務局で集計のうえ選定の参考にする。

学校における研究結果の報告については、1者と限らず、複数あってもよいこととする。

【司会】 質問を受ける。

【一同】 令和5年度は新たに中学校用教科書の採択はするのか？

【司会】 中学校用教科書は、令和4年度に採択したものと同一の教科書を採択することになっている。

承認をいただきたい。

【一同】 承認

協議6 保護者等の研究結果（意見）の聴取について

【事務局】（中川指導主事）

県の様式を参考に、7ページにある用紙を教科書展示会場に用意し、来場した保護者等が記載した意見を一覧にまとめ、選定の参考資料とする。

【司会】 質問を受ける。

【委員】 アンケートの年度について、令和5年度「教科書展示会」アンケートと括弧をつけて表記した方が、わかりやすい。

【司会】 〈令和5年度「教科書展示会」アンケート〉とすることで、承認をいただきました

い。

【一同】 承認

その他の協議事項

【事務局】（中川指導主事）

今後の採択年における事務局案について

【司会】 質問を受ける。

【委員】 令和10年には、指導要領の改訂が行われるのではないか？

【事務局】 今の段階では改訂が行われるかわからないので「現行」と表記している。

【司会】 承認をいただきたい。

【一同】 承認

中学校用教科書における調査・研究について、専門員を置かないことについて

【司会】 質問を受ける

【一同】 特になし

【司会】 承認をいただきたい。

【一同】 承認

【司会】 協議を終了する。

4 諸連絡

【事務局】（町田指導主事）

教科書発行会社より見本本が各市の教育委員会宛に5セット送付される。

今後の教科用図書採択に関する事務手続き等については、5月24日水曜日の事務担当者会議の際に、事務局より説明する。

第2回採択協議会は、7月18日火曜日、7月19日水曜日に飯能市立図書館2階多目的ホールにて午後1時30分より、開催を予定している。

5 閉会

【参事】 第1回教科書採択協議会を閉会とする。

令和5年度

第13採択地区教科用図書採択協議会 第2回採択協議会 議事録

日 時 令和5年7月18日(火)午後13時30分～午後16時30分(第1日目)

令和5年7月19日(水)午後13時30分～午後16時00分(第2日目)

場 所 飯能市立図書館 2階多目的ホール(第1日目)

飯能市役所別館 2階会議室1・2(第2日目)

出席者 滝嶋 正司 古谷 広明
中村 力 新野 豊次
中村 一夫 山川 治美
中田 一平 高山 茂

事務局

長嶋 伸一 日高市教育委員会教育部参事

(以下、「参事」とする。)

中井 健一 飯能市教育委員会教育部参事兼学校教育課長
利根川典正 日高市教育委員会学校教育課長兼主任指導主事
町田 直偉 飯能市教育委員会学校教育課指導主事
中川 智晴 日高市教育委員会学校教育課指導主事
岩田 浩一 入間市教育委員会学校教育課指導主事
児島 綾子 狭山市教育委員会教育指導課主任指導主事

進 行 事務局：中川

専門員 塚内 素子 志村 憲一 寒河江 賢行 須田 浩司 藤田 和歌子
菅野 朝子 富山 真紀 保坂 敦子 加藤 はる美 原 政幸
小野 加津美 井上 博子

第1日目

1 開会

【参事】

2 あいさつ

第13採択地区教科書採択協議会会長：中村 力より

3 事務連絡

【事務局】

4 協議

【議長】 中村会長

- ◇ 協議が慎重に進められ、適正な選定がなされるよう、願います。
- ◇ 各市の教育委員会においては、本協議会の趣旨をふまえ、本協議会の選定結果を十分尊重した上で、教科用図書の採択を願いたい。
- ◇ 選定の方法については、協議会規約で規定されている方法で行う。
- ◇ 本日の、選定については、埼玉県教育委員会作成の調査資料、専門員による調査研究報告書を参考する。
- ◇ 令和6年度使用 小学校教科用図書について種目ごとの調査研究の報告、協議及び選定を行う。

(1) 国語

- ◇ 国語の専門員の入室をお願いします。

- ① 報告
- ② 質疑

- ◇ 質疑を行う。

(質疑) 3者の中で、1冊にまとめられているものと分冊になっている発行者があるが、その違いによる児童に与える影響はあるか？

(応答) 東京書籍と光村図書出版が1冊になっている。教育出版が2冊に分かれている。2冊に分かれていると1冊あたりの分量が減るのでランドセルが軽くなる。その分、巻末のボリュームを膨らませることができている。

東京書籍と光村図書出版は、他教科や行事と関連させ、系統性を重視し、1年間を見通したいため1冊にまとめたという意図が感じられる。

(質疑) 子どもたちの読書に対する意欲を高めるための工夫はどのようなものがあるか？

(応答) 6年間で、東京書籍が580冊、教育出版が540冊、光村図書出版が530冊紹介されている。表紙絵だけではなくて少し内容に触れるようにして子供が興味を持って、この本が読みたいなと思えるような紹介がされている。例えば動物を扱った説明文の時にはその動物や同じ作者に関する情報が掲載され、多様な展開ができるように紹介されている。特に東京書籍さんはQRコードがとても充実しており、QRコードから読書案内に入れたりその本の冒頭のところを読めたりといった工夫がされている。

(質疑) デジタル化は、東京書籍以外でも見られるか？

(応答) 東京書籍は、自分で発展的に学ばせたいという思いが強く、年間だいたい100個ぐらいのQRコードが掲載されている。教育出版、光村村図書出版でも30から40ぐらいのQRコードがついているのでどこの発行者のものでも自分のタブレットでQRコードから入り、自主学習とか家庭学習に生かせるようになっている。

(質疑) 現場でQRコードは使われているのか

(応答) 子どものタブレットでQRコードで読み込むと、これまでは教員が写真を集めたり資料集めたりして黒板に貼っていたものが、子どものタブレットで瞬時に見ることができる。そのため、教員にとっては、教材研究の助けになっている。

(質疑) 対話的な学習について、各者の特徴は？

(応答) 三者ともとても具体的な場の設定化されている。QRコードで実際のインタビューの仕方や実際の話し合いの仕方を動画で見られるようになっていて、まずはそれを参考に自分たちで組み立てていくことができるようになっていて。特に教育出版は、いろいろな単元の最後に自分の思いを書き、それを友達と伝え合うということが重視されている。また光村図書出版は 問いに対して自分がどうやって答えを探して行ったかというようなことを言葉にして相手と伝え合うような活動も重視されている。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(感想) 各者ともQRコードを用いることで、より具体的なイメージをもてるように工夫されている。具体的なイメージをもつことが対話的な学びにつながるので、ありがたい。

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

◇ 国語について投票により選定を行う。

◇ 投票結果を報告する。(光村図書出版 7票) 国語の教科用図書は、光村図書出版を選定する。

(2) 書写

◇ 書写の専門員の入室をお願いします。

① 報告

② 質疑

◇ 質疑を行う。

(質疑) 書く姿勢や筆記用具の持ち方の記載について、特徴や違いはあるか？

(応答) どの発行者も同じような表現で説明されている。背中はピン、足はペタ、グーを一つお腹に入れる。紙を軽く押さえる。といったことについては、どの発行者も同じである。消しゴムの使い方、タブレットの使い方については、発行者によって取り上げ方が違う。

(質疑) 毛筆において、左利きの児童に対する指導についての記載はあるか？

(応答) 鉛筆の持ち方については記載があったが、毛筆については特に記載はなかった。

(質疑) 書写が不得意な先生がうまく指導ができるような配慮などはあるか？

(応答) どの発行者も同じようにQRコードがついており、児童がアニメーションや動画を見て、取り組むことができるようになっている。

(質疑) 短い時間で効果的な指導できるような工夫はあるか？

(応答) 効率よく取り組めるよう、教科書の構成が工夫されている。「めあて→考え

る→取り組む→振り返る」という流れが示されており、その流れに沿って指導を行うことで、短い時間で効果的な指導ができるようになっている。どの発行者もこのような構成の工夫が見られる。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(一同なし。)

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

◇ 書写について投票により選定を行う。

◇ 投票結果を報告する。(教育出版 7票) 書写の教科用図書は、教育出版を選定する。

(3) 社会・地図

◇ 社会・地図の専門員の入室をお願いします。

① 報告

② 質疑

◇ 社会について質疑を行う。

(質疑) 高学年で上下に分けている発行者と1冊の発行者があるが、児童に与える影響は？

(応答) 1冊にまとめられている方が振り返りがしやすい。上下に分かれていると、情報量が精査されるので、どこを見ると良いのかがわかりやすい。登下校に係る重量の問題については、教員が配慮しているので大きな影響はない。

(質疑) 写真の掲載について、各者の特徴や違いは？

(応答) 私見であるが、これまで使ってきた東京書籍は、写真のレイアウト、それに対する注釈の文字の大きさの大小を変えることで、見やすい。

(質疑) 各者のデジタルコンテンツの差はあったか？

(応答) それぞれ導入で子供たちを惹きつける部分、ワークシートなど学習のまとめとなる部分、子供たちがさらに学びたいクイズであったり興味関心によって個別最適な学びをとれる方法、この三つの視点がどの者も揃えられている。

◇ 地図について質疑を行う。

(質疑) 帝国書院さんのスモールステップで解説しという説明があったが、具体的にはどういう解説なのか？

(応答) 帝国書院の場合は、地図の導入期である3年生が地図を見るときに、社会科の教科書と同じように見開き2ページで子供たちに捉えさせたい内容がまとめられている。授業と同じような形式で、方位について考える時間や地図の縮尺の見方について考える時間などが地図帳の前半のページで取り扱っている。この構成をスモールステップと表現した。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(感想) 社会の教科書について、1冊にまとめられている方が、子供たちからすると全体を見渡せて、振り返りやすい。教育出版の高学年の歴史の白黒写真がカラー化されていて見やすい。

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

◇ 社会・地図について投票により選定を行う。

◇ 投票結果を報告する。(東京書籍 5票 教育出版 2票) 社会の教科用図書は、東京書籍を選定する。(帝国書院 7票) 地図の教科用図書は、帝国書院を選定する。

(4) 算数

◇ 算数の専門員の入室をお願いします。

① 報告

② 質疑

◇ 質疑を行う。

(質疑) 算数において、どの題材を使うかというのは、子供の興味関心を高める上で非常に重要であると思うが、各者ともあまり変わり映えしないような題材なのか、それともあっと驚くような新しい題材があるのか。そういうページがあれば、どの者がそういう題材を使っているのか。それともう一点。算数という教科は、結構個人差、能力差が生まれてくるが、習熟度だとか個人差に対応できる教科書はあったか？

(応答) 基本的な学習場面では、どの者も大きく変わっていない。学習したことが実際の日常生活や社会でどのように使われているのかなど各者とも単元の最後に特別に設けたコーナー等で取り扱っている。また、SDGsや身近な日常生活に結びつけているところが新しい時代に対応した内容である。

個人差に対応については、東京書籍では、ICTを積極的に活用している。習熟の場面だけでなく、問題解決や理解の状況把握の場面でもデジタルコンテンツを豊富に用意している。

(質疑) 主体的で対話的で深い学びを促すような工夫はあるか？

(応答) 問題が挙げられた後に、教科書の中で多様な考えが出されている。教科書の中に出てくる登場人物が様々な考えを出している。その吹き出しの中が、各者、特徴がある。考え方をすべて吹き出しの中で記述している者もあれば、東京書籍のように、単元の初めの頃は、考えをすべて記述しているが、学習が進むにつれて、どうしたら良いかという文章が「・・・」と表記されていて、子供が考えるような工夫がされていた。

(質疑) 教科書会社によってプログラミング学習の導入学年が違うようだが、プログラミング学習の取り扱いについて具体的に教えてほしい。

(応答) 4年生から取り扱っている者もある。多くの者が1年生から1～2時間ぐらいの配分をしている。系統的という観点では、1年生では、デジタルコンテンツをすぐに使うのではなく、自分で紙を使って動かしていくようなプログラミ

ング的思考を学習していくような教材がついているなど、徐々にその者がオリジナルで作ったプログラミング学習に近づいていけるような工夫がされている。

(質疑) 教師が指導しやすいような工夫について話題に出たか？

(応答) 低学年は、机上で手を操作しながらプログラミングの学習ができるのはいいねというような話題は出ていた。

(質疑) 中学校との連携を意識した内容、教科書会社同士での連携について話題に上がったか？

(応答) 話題には特に話題に上がっていなかった。内容としては、6年生の最後のまとめの単元で、連立方程式など中学校につながる内容が出てきている。

(質疑) 小学校と中学校で使っている教科書会社が違うことで生じる問題などについて話題に出たか？

(応答) それは出てきていない。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(一同なし。)

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

◇ 算数について投票により選定を行う。

◇ 投票結果を報告する。(東京書籍 7票) 算数の教科用図書は、東京書籍を選定する。

(5) 理科

◇ 理科の専門員の入室をお願いします。

① 報告

② 質疑

◇ 質疑を行う。

(質疑) 先生方が教材研究や準備がしやすいような工夫があったか？

(応答) チェックマークをつけることができるなど、どの者も準備しやすいような工夫がなされていた。者によって優劣はなかった。

(質疑) 意欲や興味を引き出すような取り組みや工夫はあったか？

(応答) 啓林館は、QRコードの補充問題が充実していた。また、解説問題があり、家に帰って、自分で復習しやすい。

(質疑) 各者の観察、実験に特色があるか？

(応答) 大きな写真で示してあったり、実験器具の使い方がQRコードで示してあったりするなど、どの者も工夫がなされていた。それをどう使うかが重要であると感じた。

(質疑) QRコードから動画が見られるなど、各者の特色はあるか？

(応答) どのQRコードを見ればいいのかわかりやすかったのは、東京書籍。QRコードの隣に「やり方」「動画」という記載があった。啓林館においても、わかりやすい工夫が見られた。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(一同なし。)

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

◇ 理科について投票により選定を行う。

◇ 投票結果を報告する。(啓林館 7票)理科の教科用図書は、啓林館を選定する。

(6) 生活

◇ 生活の専門員の入室をお願いします。

① 報告

② 質疑

◇ 質疑を行う。

(質疑) 小学校1・2年生が飛びつきやすいような工夫は見られたか?

(応答) どの者も飛びつきやすい工夫が見られた。啓林館は、デジタルの説明があり使いやすい。

(質疑) デジタルコンテンツの特色は?

(応答) すべての者の教科書にQRコードがついていた。光村図書は比較的QRコードの数が少なかった。他者は大差なく、動画がついていて良い。

(質疑) 大日本図書に対して「個別最適な学び」という記述があったが、個別最適な学びがあるのは大日本図書だけなのか?他の者にはないのか?

(応答) どの者にも個別最適な学びはある。大日本図書でこのように書いてあるのは、SDGsについて、説明がある場所があり、QRコードで入った時にその子にあった学習が用意されていて、個別に学習を進めやすいところがあったからである。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(一同なし。)

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

◇ 生活について投票により選定を行う。

◇ 投票結果を報告する。(東京書籍 7票)生活の教科用図書は、東京書籍を選定する。

(7) 英語

◇ 英語の専門員の入室をお願いします。

① 報告

② 質疑

◇ 質疑を行う。

(質疑) 自分で学び直すために取り組みやすい特色があった発行者はあったか?

(応答) どの者もQRコードが充実しており、ほとんどの発行者が速度を調節できるよ

うになっていた。東京書籍は、字幕のオンオフが自分で設定できるようになっていた。

(質疑) 中学校への接続は？

(応答) すべての者で、中学校への接続がしっかりとなされていた。「中学校で 小学校で使ったシートを持って使ってみましょう」といった記述が見られた。

(質疑) 者によって難易度に違いはあったか？単語数については？

(応答) 文字の表記が小さい。構文がお手本としてなく、子供にとっては難しいのではないかという者があり、者によって難易度が違った。単語数についても違いがあった。105語近く差があった。

(質疑) 英語に対する学習意欲を高めるための工夫や特色は各者であったか？

(応答) 中学校では「動詞」として扱うとことを色で示したり、語順を絵で並び替えることができるようにしたりして、わかりやすくすることで意欲を高めようとする工夫が見られる者があった。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(一同なし。)

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

◇ 英語について投票により選定を行う。

◇ 投票結果を報告する。(東京書籍 7票。)英語の教科用図書は、東京書籍を選定する。

【議長】《会長》

◇ 以上で、令和2年度使用小学校教科用図書に係る協議及び選定の第1日目を終了。

5 閉会

【参事】

第2日目

1 開会

【参事】

2 あいさつ

第13採択地区教科書採択協議会会長：中村 力より

3 協議

【議長】中村会長

(1) 音楽

◇ 音楽の専門員の入室をお願いします。

① 報告

② 質疑

◇ 質疑を行う。

(質疑) QRコードの数の差は、子供たちの学習に影響はあるか？

(応答) 数は関係ない。どちらの発行者も内容を重視し、発達段階に即した内容となっている。

(質疑) それぞれの発行者の特色のあるページなどはあったか？

(応答) タブレットで学ぶことができるようになったため、以前よりも自分で自ら学べるようにする工夫が見られる。

(質疑) 発行者によって扱っている日本の伝統文化に関する教材に違いはあるか？

(応答) どちらも写真を大事に扱っていて、日本人として子供たちが誇りを持ち、未来につなげるような内容になっている。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(一同なし。)

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

◇ 音楽について投票により選定を行う。

◇ 投票結果を報告する。(教育芸術 7票) 音楽の教科用図書は、教育芸術を選定する。

(2) 図画工作

◇ 図画工作の専門員の入室をお願いします。

① 報告

② 質疑

◇ 質疑を行う。

(質疑) QRコードは具体的にどのように活用できるのか？

(応答) 開隆堂出版では、表現技法や道具の使い方、材料の特徴などについて基礎的基本的な理解を促すために活用できるようになっている。鑑賞教材の内容は、発行者によって違う。独立した鑑賞教材が多かったのは、日本文教。開隆堂は、書かせるものが多かった。鑑賞や技法を学べるところは一緒である。

(質疑) 発行者ごとの特色は？

(応答) 両者とも個性を伸ばす配慮があった。指導をする視点でみると、開隆堂は示されている作品のレベルが高い。日本文教は、ベースをしっかりとさせるために簡単な言葉で説明されていて、指導しやすい。製作の手順について、QRコードで最後まで説明されているのは、日本文教。言葉でしっかりと説明されているのは開隆堂。

(質疑) 協働の場面は2者とも入っているのか？

(応答) 入っている。

(質疑) 開隆堂の報告に「豊かな感性を育てる題材が多い」具体的にいうところが感性を育てることにつながるのか？

(応答) 材料が豊富で、手触りなど発見が多い。生活科とタイアップさせるものが多いというところ。

(質疑) 日本文教の報告に「全学年を通して、本を読んで感じたことやイメージしたことを絵に表現する題材が繰り返し設定されているため、知識や技能が積み重ねにより定着していくように構成されている。」と記述されているが、このような指導方法は、この発行者の特徴ととらえていいですか？

(応答) はい。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(一同なし。)

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

◇ 図画工作について投票により選定を行う。

◇ 投票結果を報告する。(開隆堂 7票) 図画工作の教科用図書は、開隆堂を選定する。

(3) 家庭

◇ 家庭の専門員の入室をお願いします。

① 報告

② 質疑

◇ 質疑を行う。

(質疑) 両者とも授業の流れの文言が違うが、内容に違いはあるのか？

(応答) 文言は違うが、内容としては、違いはない。

(質疑) 2者に大きな違いがあれば教えていただきたい？

(応答) QRコードについて、東京書籍は、動画に字幕があってユニバーサルデザイン

に配慮している。出汁の取り方などについてもQRコードで示されていた。開隆堂は、記入できる資料が準備されていた。動画も用意されている。自分でスライドのように見ていくことができる資料もある。

(質疑) 報告資料から、QRコードは、開隆堂の方が多いいという理解でよいか？

(応答) ワークシートも豊富に用意されていた。東京書籍は、項目ではなく、ページごとにQRコードが用意されていたので使いやすいと感じた。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(一同なし。)

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

◇ 家庭について投票により選定を行う。

◇ 投票結果を報告する。(開隆堂 7票) 家庭の教科用図書は、開隆堂を選定する。

(4) 保健

◇ 保健の専門員の入室をお願いします。

① 報告

② 質疑

◇ 質疑を行う。

(質疑) 学習のステップが3ステップの発行者と4ステップの発行者があるが、違いや良さはどんなところがあるのか？

(応答) 各者とも学習過程がわかりやすいものになっている。文教社は、3年生から6年生まで4つの学習過程を貫いているという特徴がある。他の者においても最初に「つかんで」「学び協議して」「表現して」「ふりかえる」という過程は、明確になっている。教師立場から教えやすいのは3ステップである。

(質疑) 人権に配慮した表現はあったか？

(応答) 各者とも配慮があった。

(質疑) 子供たちがわかりやすい特色はあったか？

(応答) レイアウト、フォント、色づかい等、どの者もわかりやすいような配慮が見られた。

(質疑) LBGTQ等の取り扱いはあったか？

(応答) 東京書籍、大修館に記載が見られた。

(質疑) QRコードの数に差はあったか？

(応答) 数に大きな差はなかった。

(質疑) 特出すべき工夫がみうけられた発行者はあったか？

(応答) QRコードは、各者の考えの違いが表れていた。例えば病気の予防のところでは、東京書籍ではウイルスについて図で表されており、自分で調べられるようになっていた。大修館は、ウイルスと病原体を分けて、動画で説明されていた。文教社は、入ると枝分かれしており、細かく引っ張っていきけるような形になっていた。学研は、ふりかえってまとめる際のアドバイスを受けれるようになっていた。

(質疑) 東京書籍の報告にアスリートの言葉が取り上げられていると記述されているが、そういった方々を取り上げる効果や、指導上扱いにくいことなどはあるのか？

(応答) 知名度が高いアスリートの言葉は、子供に入りやすい。子供たちにあまり知られていないアスリートだと、どういう人なのかというところから指導しなければならない。そのために時間がかかってしまうという課題がある。

(質疑) 存命のアスリートであるとその方への評価が定まっていないというところもあると思うが、そういった意見は出てきたか？

(応答) そこまでの意見は出てない。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(一同なし。)

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

◇ 保健について投票により選定を行う。

◇ 投票結果を報告する。(東京書籍 7票) 保健の教科用図書は、東京書籍を選定する。

(5) 道徳

◇ 道徳の専門員の入室をお願いします。

① 報告

② 質疑

◇ 質疑を行う。

(質疑) 新しい教材を入れている発行者はあったか？

(応答) どの発行者もそれぞれ新しい教材も定番の教材もバランスよく入っているので、ここが特に多いというような印象はない。

(質疑) 35以上の教材が入っている発行者が、その効果は？

(応答) 道徳は、小学校1年生が34時間、2年生以上は35時間が標準時数として定められている。各学校での重点的に道徳的な教育で扱う内容項目が違うため、たくさんある教科書では選択が可能になる。どの発行者において、少ないからといって選びにくいということはない。文部科学省の教材や埼玉県で発行している「彩の国どうとく」という教材もあるので、バランスよく各学校の実態に応じて選んでいける。

(質疑) 各者、現代的な課題を取り上げているが、印象に残っているものは？

(応答) 今回の改訂で、どの発行者もSDGsに関する内容が入ってきているのが印象的であった。

③ 協議

◇ 教科用図書の選定について、意見のある方は挙手をお願いします。

(一同なし。)

◇ 以上で協議を終了する。

④ 選定

- ◇ 道徳について投票により選定を行う。
- ◇ 投票結果を報告する。（東京書籍 7票）道徳の教科用図書は、東京書籍を選定する。

【議長】

- ◇ 以上で、令和6年度使用小学校教科用図書に係る協議及び選定を終了する。

4 事務連絡

【事務局】

- ◆ 選定結果について、読み上げる。

【参事】

- ◆ 選定した教科用図書について、種目、発行者名、教科用図書名の順に読み上げる。
- ◆ 初めに、小学校教科用図書について読み上げる。
- ◆ 国語 光村図書出版 国語
- ◆ 書写 教育出版 小学 書写
- ◆ 社会 東京書籍 新編 新しい社会
- ◆ 地図 帝国書院 楽しく学ぶ 小学生の地図帳
- ◆ 算数 東京書籍 新編 新しい算数
- ◆ 理科 新興出版社啓林館 わくわく理科
- ◆ 生活 東京書籍 新編 新しい生活
- ◆ 音楽 教育芸術社 小学生の音楽
- ◆ 図画工作 開隆堂出版 図画工作
- ◆ 家庭 開隆堂出版 わたしたちの家庭科
- ◆ 保健 東京書籍 新編 新しい保健
- ◆ 英語 東京書籍 NEW HORIZON Elementary English Course
- ◆ 道徳 東京書籍 新編 新しい道徳

- ◆ 以上、報告する。

【事務局】

- ◆ 今後の事務処理について連絡する。
- ◆ 教育委員会会議について

5 閉会

【参事】